

（学年）第3学年、（教科・科目）総合的な学習の時間

協働学習

（単元）社会課題について考える

（本時のねらい）

現存する様々な社会課題について知り、伝え合い、考えることを通して、自身がこれから参画していく社会について解像度を高め、自分なりの立ち位置やスタンスを模索する。また、現在その課題に立ち向かっている大人たちの姿を、ロールモデルとして自身の生き方に参照できるようになることもねらいの一つである。特に本時は、他班の発表を聴くことを通して、自身が調べたことと比較しながら考えを深めていくことを目指した。

（ICT活用方法）

調べた内容をクラスメイトへ伝えるために、一人一台端末でスライドを作成し、電子黒板に投影した。こうした発表を従来は模造紙にまとめていたが、電子黒板と一人一台端末の導入によって、Webサイトの引用や紹介も容易になり、社会課題の現状や既存の取り組みについてより詳しく伝えることができた。

（本時の展開）

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 5分	・本時のねらいを確認する。	・本時のねらいと発表の聴き方について説明する。	
展開 40分	・各班で調べた社会課題について、クラス全体に向けて発表する。	・各班の発表後、適宜質疑応答の時間をとる。	・調べた内容を一人一台端末でスライドにまとめる。 ・スライドを電子黒板に映して発表する。
まとめ 5分	・感想シートを用いて本時のまとめをする。	・自身が調べた内容と他班の発表内容を比較しながら考えるよう指示する。	

（授業の様子）



電子黒板を用いた発表風景 1



電子黒板を用いた発表風景 2

（生徒の反応と課題）

特に既存の取り組みについては聴き手側から多様な感想が出ており、ロールモデルに出会うというねらいに関しては、ICTの活用が奏功した。Webサイトのスクリーンショットを撮影してスライドに活用する生徒が多く、一人一台端末を用いた発表準備に手慣れてきた様子がうかがわれた。ただし、スライドとして電子黒板に表示できる情報量が多くなる一方で、それを聴き手に理解させる口頭説明の準備までは手が回っていなかった班が多く、今後の課題に思われた。